

質 疑 応 答 書

件名 広島市立大学ウェブサイトリニューアル及び運用・保守業務

番号	頁等	質 問	回 答
4- (1) - ク	2	別紙 2 のスケジュールは実稼働 日で換算するとタイトなスケジ ュールですが、 納期含め各作業項目に割り当て られたスケジュールの変更や調 整のご検討は難しいでしょう か？	納期については、「委託業務 仕様書」5 に記載の委託期間 内での納入を厳守してくだ さい。 期間内であれば、別紙 2 に記 載した各作業項目のスケジ ュールについては本学と協 議の上、変更や調整は可能と します。
4- (2) - ウ	2	年 1 回以上のレポート提出とあ りますが、既存のレポート形式 を 6/5 以前に確認できますか？	レポートの内容も審査対象 となるため、レポートの形式 についてもご提案ください。
4- (2) - キ～ 7- (1) - カ-(キ)	2～3	4- (2) -キから 7- (1) -カ-(キ) までについて 5 年間にどれほど のアップデートが実施されるか 予想もつかない状態での対応確 約（契約費用内）という解釈で よろしいですか？	「委託業務仕様書」に記載し ていることについては、契約 金額の範囲内で対応するこ ととしています。
7- (1) - イ - (ア)、 7- (1) - イ - (イ)	3	移行するコンテンツが不明な状 態での費用積算になりますが、 契約時の想定と大きく違って も、費用は変わらず・・・という 事になりますでしょうか？ もしくは予算内で可能な量の移 行数になりますでしょうか？	7- (1)イ (イ) に記載のとおり、 基本的には全てのコンテン ツを移行することを前提と しています。なお、移行する データの詳細については、本 学と協議の上、決定すること とします。また、費用につい ても同様に、全て移行するこ とを前提に積算してください。

別紙

7-(1) - キ-(ウ)	4	<p>本件で使用するサーバーは貴学にてご準備されるとの認識で合っていますでしょうか？</p>	<p>公開後に使用するサーバーは、本学のサーバーを使用することとしています。 なお、7-(1)カ(イ)に記載のとおり構築作業等に必要なテスト環境は、受託者が準備することとしています。</p>
7-(1) - カ-(サ)	4	<p>こちらは「一例」としての記述でしょうか？ 具体的に「Google カスタム検索」の導入をご要望であれば、以下に関してはどのようにお考えでしょうか？ Google カスタム検索には以下のデメリットが発生します。 1. 検索連動型広告が表示される 2. ページ作成後に Google にインデックスされないと検索結果には表示されない。(ページ作成後に何日もインデックスされない可能性も大いにあり得る)</p>	<p>あくまで一例であるため、メリット、デメリットを考慮した上で、最適なものをご提案ください。</p>
7-(1) - キ-(カ)	5	<p>原因の切り分け（サーバーが原因なのか？CMS が原因なのか？）はどのように行われるのでしょうか？</p>	<p>7-(1)キ(カ)に記載のとおり、原則問題が出ないような仕様としてください。もし、表示等に問題が生じた場合は、受託者が運用・保守業務として対応し、本学サーバーに問題の可能性がある場合など、必要があれば本学からサーバー管理者へ対応を依頼することとします。</p>
7-(1) - キ-(ク)	5	<p>該当ページのカスタマイズは可能ですが、編集機能も必要でしょうか？</p>	<p>受託者が運用・保守業務内で編集可能な機能を想定しています。</p>

別紙

7-(1) - ク-(ア)	5	構築期間中とはどの時点からでしょうか？	トップページや各コンテンツページなどの進捗確認が必要となった時点からと考えています。
7-(2) - ア-(ア)	5	現在の使用環境とはどのようなものでしょうか？	使用環境とは、ウェブサイトの運用・保守期間におけるサイトが構築されているサーバー等の動作基盤を示します。基盤は、セキュリティ対応等や、OS 及び関連ソフトウェアの更新で変化するため、それに応じた親和性・互換性に配慮し、運用・保守を実施してください。
7-(2) - ア-(エ)	5	インストール型、またはクラウド型のセキュリティアップデートツールの利用を想定されていますでしょうか？	ツールを使用するかどうかは企画提案に含めます。
7-(2) - ア-(オ)	5	導入した CMS 本体と関連アプリケーション（プラグイン等）の開発元の違いから、開発者側のセキュリティアップデートのタイミング違いやアップデート未対応が生じた場合は、別途協議の上で、機能の凍結や場合によってはページ非公開の対策を取ることは可能ですか？	7-(2)ア(カ)に記載のとおり、CMS 等に係る作業を行う際は本学と事前協議の上、凍結やページ非公開の対策をとることが必要な状況であればやむを得ないと考えています。
7-(2) - ア-(キ)	6	移行先のサーバーの仕様が不明な状態でも対応確約（契約費用内）という解釈でよろしいですか？	解釈のとおりです。

別紙

7-(2) - ア-(ケ)	6	<p>サーバーは貴学で管理される認識ですので、バックアップ等はサーバー管理の管轄になる認識ですが、合っていますでしょうか？</p> <p>もしくはバックアップの仕組みのみ受託者側で用意するという事でしょうか？</p>	<p>サーバー全体のバックアップについては、本学で対応しますが、コンテンツのバックアップは受託者が用意することとしています。</p>
7-(2) - エ-(ア)	7	<p>新規作成のボリュームが不明な状態で費用に含むのは困難です。</p> <p>想定されるボリュームをご提示いただくのが、スムーズかと思いますが、いかがでしょうか？</p>	<p>本学で更新することができないコンテンツの作成等を想定しており、昨年度の実績では、年間約 20 件程度でした。ただし、リニューアル直後は増える可能性があるため、月平均 5 件程度を想定しています。</p>
別紙 1 1-4	1	<p>使用するインターネット環境や端末の環境によっても大きく左右されます。何か基準がありますでしょうか？</p>	<p>同項目に応答時間の目安を示しています。サイトを構築するために使用する本学が提供するサーバー等基盤はクラウド上にありますが、利用する本学のネットワークと高速に接続することを条件としていますので、ネットワーク遅延は小さいとお考えください。本学教職員が大学のネットワークを経由して各自の PC 環境から各種操作を行うため、その環境を想定しています。</p>
2-2	1	<p>「多言語」とは具体的に何語に対応する仕様でしょうか？</p> <p>4-(2) -キとも関連しますが、初年度以降も追加で要望が発生する認識でしょうか？また、最大で何カ国語を想定されていますでしょうか？</p>	<p>英語、中国語、韓国語は必須と考えております。それ以外の言語については、費用内でできることをご提案ください。また、初年度以降に言語数を追加することは想定しておりませんが、もし追加する必要が生じた場合は、本学と協議の上、対応を検討します。</p>

2-4	1	<p>テンプレートの修正・追加・削除は専門的知識が必要ですが、「管理者」とはその知識を持っている方になりますでしょうか？</p>	<p>7-(2)エ(ア)a に記載のとおり、テンプレートの新規作成については受託者が行うこととしておりますので、修正・追加・削除については、専門知識がない職員でも対応できることを想定しています。</p>
2-5	1	<p>「文字サイズ」の指定を可能にすると、レスポンス対応時の端末ごとのフォントサイズ指定に悪影響が出ますが、このような悪影響が出る内容に関しては「使用不可」の対応は大丈夫でしょうか？</p>	<p>使用不可の対応以外が難しい場合はやむを得ないと考えておりますが、使用できる方法があればぜひご提案ください。</p>
2-9 、 2-10	2	<p>「2-9」「2-10」で要望頂いていることが相反しています。 2-9 ではコピー&ペーストする際にソースデータを引き継がないように・・・ 2-10 では引き継ぐようにご要望いただいております。 どちらが正しいご要望でしょうか？ ご要望の内容によって実現可能・不可能が変わってきます。</p>	<p>2-9 では、「アプリケーション特有の HTML 表現を削除できること。」と記載しており、ソースデータの削除等の編集ができることとしております。本学の要望としては、コピー&ペーストで用意に文章や表の作成ができることです。</p>
2-14	2	<p>WYSIWYG エディタ内での機能を想定されていますでしょうか？ また「Adobe Acrobat Reader のダウンロード用リンクバナー」は PDF をアップロードする度に自動挿入される・・・という想定でしょうか？</p>	<p>そのとおりです。 また、バナーについてもご認識のとおりです。</p>

2-16	2	<p>ご要望の内容が不明です。 何を確認する事を想定されていますでしょうか？</p>	<p>ワンクリックでリンク先が表示される等、容易にリンク先が正しいかどうかを確認ができることを想定しています。</p>
2-20	2	<p>「サイト閲覧ユーザーが検索するディレクトリを指定できる」という意味では無いですよね？</p>	<p>項目や分類ごとにサイト内検索が可能という意味です。現在の本学のウェブサイトにおけるサイト内検索を参考にしてください。</p>
2-21	3	<p>ご要望の画面イメージを具体的にご教示ください。 管理画面内に Google マップが表示されており、そのマップ上でピンを移動してマップを作成する・・・といったイメージでしょうか？ その際には、機能の一部に「従量課金」が含まれますので、使用ボリュームが不明な「従量課金」分を5年分の予算に含めるのは困難だと思われませんが、いかがでしょうか？</p>	<p>費用の範囲内で、ページ内において簡単な操作で施設などの所在地の表示が可能な仕様をご提案ください。</p>
2-22	3	<p>2-21 では「ソースを扱わない・・・」となっていますが、動画はソースを扱う・・・でよろしいですか？</p>	<p>動画については、動画投稿サイトからソースをコピーして埋め込むことを想定しているため、2-22 に記載のとおりです。</p>

3-4	3	<p>サイトマップが自動生成される仕様で、自動生成されたサイトマップを手動で編集できると、矛盾が生じます。</p> <p>例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CMS で新規ページを作成→サイトマップに自動追加 2. サイトマップを手動で編集(例えばサイトマップ上のタイトルを変更) 3. CMS 上で該当ページを更新する 4. 手動で編集したサイトマップ上の文言は上書きされて、CMS 上のタイトルに先祖返りする。 <p>こういった仕様になりますが、よろしいですか？</p>	<p>記載どおりの仕様でかまいません。</p>
6-3	4	<p>差し戻し時に修正箇所を指示する方法は、どのように想定されていますでしょうか？</p>	<p>修正箇所の指示方法についても、ご提案ください。</p>

(注) この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。なお、この用紙には企画提案参加者名を記入しないこと。

質 疑 応 答 書

件名 広島市立大学ウェブサイトリニューアル及び運用・保守業務

番号	頁等	質 問	回 答
1	仕様書 4. (2). オ	「データの追加・修正」とは具体的にどのような内容でしょうか。また、想定される頻度はどの程度でしょうか。	本学で更新することができないコンテンツの作成等を想定しておりますので、昨年度の実績でお伝えすると、年間約 20 件程度でした。ただ、リニューアル直後は増える可能性があるため、月平均 5 件程度を想定しています。
2	仕様書 4. (2). オ	貴学による Web サイトの更新頻度はどの程度の想定ですか。	更新頻度は時期により異なりますが 5 回/日程でページの作成及び修正を行っています。
3	仕様書 4. (2). キ	貴学にてご用意いただくサーバーの詳細について教えていただけますか。	クラウド上の Linux サーバーです。サーバーの詳細なスペックはセキュリティの観点から公開しておりません。受託後にお知らせします。
4	仕様書 7. (1). イ. (イ)	移行に関して、既存サイトのデータは何らかのデータ形式でのエクスポートが可能ですか。	可能です。
5	仕様書 7. (1). イ. (イ)	学 内 限 定 情 報 (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/private/) は移行対象に含まれますか。 含む場合、学内限定情報の下層ページは何ページありますか。	学内限定情報は (https://www.hiroshima-cu.ac.jp/) で始まるため移行の対象です。 なお、現在下層ページは 100 ページ程度です。
6	仕様書 7. (1). オ	映像や音声のコンテンツはありますか。 映像や音声のコンテンツがある場合、「文字起こし」については提供いただくことは可能ですか。 (「JIS X 8341-3:2016」に適合するための質問)	あります。現在のウェブサイトをご確認ください。 なお、文字起こしデータはないため、提供できません。

別紙

7	仕様書 7. (1). カ. (エ)	多言語対応は「英語」以外の言語も含まれますか。	英語、中国語、韓国語は必須と考えております。それ以外の言語については、費用内でできることをご提案ください。
8	仕様書 7. (1). カ. (キ) 及び 7. (2). ア. (ク)	スマホ・タブレットの「OS」と「各種ブラウザ」は、テスト時の最新バージョンを対象とすることでよいですか。 (テスト後にバージョンアップされた場合は保守範囲から外れる想定)	スマホ・タブレットの「OS」と「各種ブラウザ」については、7-(2)ア(ク)に記載のとおり対応することとしているため、テスト後のバージョンアップへの対応は運用・保守の範囲となります。
9	仕様書 7. (1). カ. (ク)	「学内システム」との接続とは具体的にどのようなことでしょうか。	本学がウェブサイト以外に使用している「大学情報サービスシステム」「物品請求システム」「Web メール」「e-learning システム」「文書管理システム」との接続を想定していません。
10	仕様書 7. (1). キ. (ウ)	「情報処理センターで準備する基本システム (Apache、PHP、DB)」とありますが、ネットワーク回線、ハードウェア、OS は貴学情報処理センターで準備されるという認識でよろしいですか。	その認識で問題ありません。
11	仕様書 7. (1). キ. (ウ)	「準備する基本システム (Apache、PHP、DB)」について、それぞれのバージョンを教えてくださいませんか。	バージョンについては、「委託業務仕様書」7-(1)キ(ウ)のとおり、受託者と本学との協議の際にお示しいたします。
12	仕様書 7. (1). キ. (エ)	LDAP サーバーとの連携の目的について教えてくださいませんか。	本学の各システムにて使用している ID 情報をウェブサイト編集ログイン ID として使用するために LDAP サーバーと連携の必要があります。

別紙

13	仕様書 7. (1). キ. (エ)	開発時、クラウド上に別サーバーを設けて構築することを検討していますが、その場合 LDAP サーバーとの通信環境の提供は可能ですか。	本学が用意するサーバー以外からの LDAP サーバーへの通信はできません。開発時は CMS のローカルアカウントをご用意ください。
14	仕様書 7. (1). キ. (カ)	「合格発表等のアクセスが集中する際にも、CMS やそれを用いたコンテンツの表示等に問題が出ないようにすること。」とありますが、ネットワーク回線、サーバー、ハードウェアは貴学、または受託者のいずれが調達する想定ですか。 貴学から提供される場合には、その範囲内で可能な品質と捉えてよろしいですか。	ネットワーク回線、サーバー、ハードウェアは本学が準備いたします。その範囲で可能な対策を準備ください。
15	仕様書 7. (2). ア	運用保守の対象について、どこまで含まれますか。 例： ハードウェア、OS→提供ベンダー 基本システム (Apache、PHP、DB) →貴学 CMS 及び拡張機能→受託者	受託者の保守の対象は 4-(2) 及び 7-(2) 記載のとおり CMS 及び関連コンテンツになります。
16	仕様書 7. (2). ア. (キ)	「2024 年度にサーバー移行の予定があるため、その際の対応を含む。」と記載がありますが、差し支えなければ移行の理由をお聞かせください。また、移行先のサーバーのスペック、設置場所、利用ソフトウェアを教えてください。	移行は定期的に行っているサーバー更新のタイミングである 2024 年度に実施いたします。移行先のサーバーのスペック等は 2024 年度に決定いたします。
17	-	差し支えなければ現行 Web サイトで使用されている CMS の名称を教えてください。	現在は WordPress を使用していますが、これに限定するものではないため、「委託業務仕様書」の内容を満たす CMS を提案ください。

別紙

18	-	WebサイトのすべてをCMS上から編集できる必要がありますか。	「委託業務仕様書」を満たしているCMSであればその限りではありません。
19	-	リニューアルするWebサイトの物量はどのくらいになりますか。	現在のウェブサイトを基にご検討ください。

(注) この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。なお、この用紙には企画提案参加者名を記入しないこと。

質 疑 応 答 書

件名 広島市立大学ウェブサイトリニューアル及び運用・保守業務

番号	頁等	質 問	回 答
03 仕 様 書	4 頁 7-(1) ア	自動で実行される簡易のアクセシビリティ検査機能が実装された仕組みとすること。 について 「簡易」の検査機能として、想定される項目はご教示頂けますでしょうか？	項目についても審査対象となるため、7-(1)アのウェブアクセシビリティに関する内容に準拠した項目をご提案ください。
03 仕 様 書	5 頁 7-(1) カ	(ク) 学内システムとの接続を考慮した環境設定を行うこと。 について 「学内システム」はどのようなものがございますでしょうか？	学内システムとは、本学で使用している「大学情報サービスシステム」「物品請求システム」「Web メールシステム」「文書管理システム」のことです。
03 仕 様 書	5 頁 7-(1) キ	(エ) 本学の LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーと連携できるようにすること。 について 「本学の LDAP サーバー」は Windows サーバーでしょうか？	本学の LDAP サーバーは Linux サーバーを使用しています。
03 仕 様 書	5 頁 7-(1) キ	(カ) 合格発表等のアクセスが集中する際にも、CMS やそれを用いたコンテンツの表示等に問題が出ないようにすること。 について、 サーバースペックが影響するかと存じますが、どの程度のアクセス数想定となりますでしょうか？	合格発表時の最大アクセス数を想定しています。 過去の実績では、昨年までが約 2,000/分アクセスで、今年は例年の 6 割程度のアクセス数でした。

03 仕様書	6 頁 7-(2) ア	<p>(キ)</p> <p>※ 2024年度にサーバー移行の予定があるため、その際の対応を含む。</p> <p>について、</p> <p>リニューアルは、現行サーバーでの対応という認識で相違ないでしょうか？</p> <p>2024年度のサーバー移行作業自体は、要件に含まれず、その際に不具合等が発生した場合の対応が必要という認識で相違ないでしょうか？</p>	<p>相違ありません。リニューアルは現行のサーバーでの対応となります。</p> <p>また、サーバー移行の際の対応についても、相違ありません。サーバー移行作業（コンテンツ移行も含む）は含まれませんが、サーバーのOS等環境が変わる可能性がありますので、その際に不具合等が発生した場合の対応が必要となります。</p>
04 別紙 1	3 頁	<p>Instagram や LINE などのソーシャルメディアと連携が可能なこと。本学ウェブサイトへの記事掲載と同時に、連携して、本学が指定するソーシャルメディアへの投稿が可能なこと。ソーシャルメディアへの投稿の有無について選択できること。</p> <p>について、</p> <p>具体的な SNS や、連携は学校全体なのか、学部ごとに異なるのかというあたりはご教示頂けますでしょうか？</p>	<p>現在は、Instagram、LINE、Twitter、YouTube との連携を想定していますが、その他のソーシャルメディアについては企画提案に含めます。</p> <p>連携は、全学のもののみとします。</p>
02 説明書	1 頁 1	<p>リニューアル・運用・保守について、それぞれ、お支払いのタイミングをご教示頂けますでしょうか？</p>	<p>リニューアルに係る経費及び2024年2月及び3月分の運用・保守に係る経費については、請求を受けた翌月の末日までにまとめて支払います。</p> <p>また、2024年度以降の運用・保守に係る経費についての支払い時期については、本学と協議の上決定することとします。</p>

(注) この質疑応答書は、仕様書の追補とみなす。なお、この用紙には企画提案参加者名を記入しないこと。